

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●エリザベス女王杯でモズカッチャンがG I 初制覇

11月12日(日)に行われたエリザベス女王杯(G I)ではモズカッチャン(牝3歳／栗東・鮫島一歩厩舎)が優勝、G I 初制覇を果たしました。鮫島調教師にとっても初のG I タイトル。鞍上のミルコ・デムーロ騎手(栗東・フリー)は今年のJRA・G I 5勝目で、すべて異なる馬でのJRA・G I 年間5勝は史上初のこととなります。

●内田博幸騎手がJRA通算1100勝を達成

11月11日(土)の5回東京3日・第6レースではスティングビートが1着となり、同馬に騎乗した内田博幸騎手(美浦・フリー)は、史上30人目、現役では14人目となるJRA通算1100勝(9225戦目)を達成しました。

●福永祐一騎手がJRA年間100勝を達成

11月11日(土)の5回東京3日・第8レースではハナレイムーンが1着となり、同馬に騎乗した福永祐一騎手(栗東・フリー)は、8年連続9回目となるJRA年間100勝を達成しました。本年の年間100勝達成は、戸崎圭太騎手、M. デムーロ騎手、C. ルメール騎手に続く4人目のこととなります。

●田中勝春騎手がJRA通算1万9000回騎乗を達成

11月11日(土)の5回東京3日・第10レースの三鷹特別でバウトナカヤマに騎乗した田中勝春騎手(美浦・フリー)は、武豊騎手、柴田善臣騎手、蛯名正義騎手に次いで史上4人目・現役4人目となるJRA通算1万9000回騎乗を達成しました。

●瀬戸口勉氏が逝去

元騎手・元調教師の瀬戸口勉氏が、11月9日(木)に逝去されました(81歳)。瀬戸口氏は1963年桜花賞を勝利するなど騎手として2534戦329勝の成績を残して引退し、1975年に厩舎を開業。調教師としてはオグリキャップ、ネオユニヴァース、マイショウサムソンなどを手がけ、2007年の引退までに8155戦864勝の成績をあげました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド園田の結果

ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド園田は11月15日に実施され、第1戦は森裕太朗騎手(栗東)、第2戦は岩崎翼騎手(栗東)が優勝しました。

●サッポロクラシックCはソイカウボーイ【各地の主要2歳重賞】

サッポロクラシックC(10月25日、門別、1200m)は、中団から追い上げた1番人気のソイカウボーイ(牡、父トビーズコーナー)が直線半ばで抜け出し、4馬身差で楽勝。兵庫若駒賞(10月26日、園田、1400m)は、7番人気の未勝利馬トゥリバ(牝、父カルストンライトオ)が逃げ切り、初勝利が重賞制覇となりました。知床賞(10月29日、盛岡、1400m)は、4番手から差を詰めた7番人気の北海道からの遠征馬スタークニナガ(牡、父サクラオリオン)が、ゴール前で差し切り勝ちを収めています。

●オールブラッシュらが参戦、11月23日の浦和記念(浦和)

浦和記念(JpnII、浦和、2000m)は、オールブラッシュが中心、クリノスターターが続き、ヒガシウィルウィン(船橋)、ナムラアラシ、マイネルバサラまでが争覇圏内と考えられます。

●11月21日の兵庫ジュニアグランプリはハヤブサマカオーが有力

兵庫ジュニアグランプリ(JpnII、2歳、園田、1400m)は、2戦2勝のハヤブサマカオーが最有力、以下ソイカウボーイ(北海道)、タガノアム、レナータ、アスターード、クラウンエンジニア、リコーアイソン(北海道)の順に有力視されます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●豪G 1 メルボルンC～オブライエン親子がワンツーフィニッシュ

“国の活動を止めるレース”と言われるオーストラリアのG 1 メルボルンC(芝3200m)が11月7日に豪メルボルンのフレミントン競馬場で行われ、アイルランドのジョセフ・オブライエン調教師が管理するリキンドリング(牡3歳=現地年齢表記4歳、51.5%、父ハイシャパラル)が優勝。0.4馬身差の2着にはジョセフの父であるエイダン・オブライエン調教師が手がけるヨハネスフェルメール(54.5%)が入り、親子でのワンツーフィニッシュとなりました。勝利騎手はC. ブラウンです。リキンドリングはこれがG I 初制覇。重賞は今年4月のG 3バリサックスS(芝10f)、7月のG 2カラC(芝14f)に続く3勝目です。

●豪G 1 エミレーツS～トーセンスターダムがG 1・2勝目

11月11日に豪メルボルンのフレミントン競馬場で行われたG 1 エミレーツS(芝2000m)を日本からオーストラリアに移籍した日本産馬トーセンスターダム(牡6歳=現地年齢表記7歳、父ディープインパクト)が直線で前が塞がる不利をはねのけ、G 1 エプソムHの勝ち馬ハッピークラッパーに1.5馬身差をつけて優勝。10月のG 1 トゥーラックH(芝1600m)に続く2つ目のG 1 勝ちを収めました。勝利騎手はD. レーン、同調教師はD. ウィアーです。